

大崎上島町地域協議会準備会議報告

平成20年4月23日

標記地域協議会準備会議を開催しましたので報告します。

日時、場所：平成20年4月23日（水）13：30～15：20 開発センター

出席者：吉本商工観光課長、FFアイランド大崎会永見、岡本、商工会先田、NPO石倉、榎本

1 吉本課長挨拶の後、榎本司会進行で以下のとおり打ち合わせ会議を持った。

2 榎本より打ち合わせ会議までの経緯説明

町とNPOは協力連携により定住促進事業を推進している関係で、県交流定住促進室からの情報に基づいて中国四国農政局主催の地域力発掘支援モデル事業の説明会に商工観光課職員と共に出席した事及び同事業に応募は町参加の地域協議会が基本条件である旨説明。

3 協議会の必要性

交流定住促進検討委員会において過去に各組織が個々に町興しを実施した事を知り、全組織が一元的に対応することでより大きな成果を得ることを期待して、応募がかなわない場合も協議会を存続させることを了承した。

協議会規約その他関係書類作成はNPOが作成し応募前に皆様に提示する。

4 打ち合わせ事項

企画書に基づき趣旨、応募事業内容、構成メンバー、スケジュール、効果等を説明し、概ねの同意を得、下記の打ち合わせをした。

町興しが主題であれば観光促進がまず先ではという意見もいただきましたが、応募書類を意識して担い手の育成や情操を絡めた教育を掲げたことを説明。

広島からの日帰りバスツアー、水上バイクアイランドカップ、神峰ウオーク、産業祭等々と「櫛伝馬」による町興しを関連させてわが島を見て知ってもらい、観光客を一日でも長く島に逗留してもらうことを企画する、そのためには島の長所短所を整理する必要がある。

櫛伝馬にはそれぞれの地区に歴史があるので、神事行事を切り離したものをしがらみのない大崎地区で新たに立ち上げ、大串海水浴場は観客も見やすいのでレースを実施する。

櫛伝馬の新造は短くて5～6年、長くて10年周期で各地区の自己資金をもって今治地区で建造され、伝馬は250万円、太鼓、大櫛1、櫛14で150万円 計400万円位

東野地区では祭り当日昼に児童生徒に乗船させこぎ方の練習をしている。また、櫛伝馬は神事に参加していない地区もあり借りられる可能性もあるとのことであった。

以上を打ち合わせし、協議会結成後は事務局には各組織から1名ずつ実働できる方に参加していただき運営することを確認散会。

以上